

# バサルト帯板接着工法

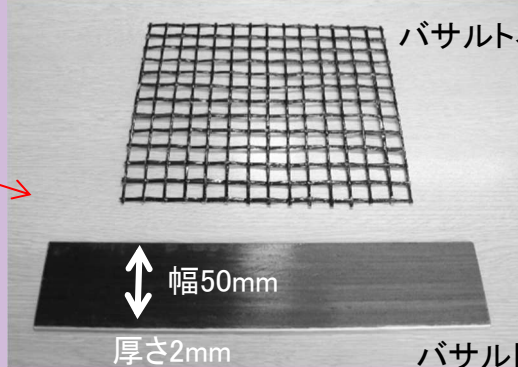
トンネル研究室

- ◆ トンネル覆工からの閉合ブロックや小片の剥落を防止します。
- ◆ 凹凸が多い覆工でも施工が可能です。
- ◆ 補強の効果も有します。

□ 概要      要      バサルト繊維製のFRP帯板を接着剤でトンネル覆工に接着し、アンカーと固定金具を用いて覆工に固定する補修・補強工法です。トンネル覆工からの閉合ブロック等の剥落を防止することができる他、バサルト繊維製のFRPネットを併用することで粗骨材程度の小片のはく落も防止することができます。



バサルト原糸

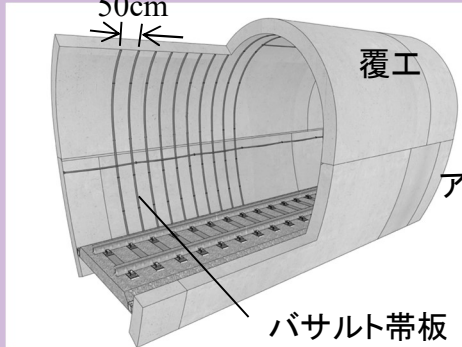


バサルトネット

厚さ2mm

バサルト帯板

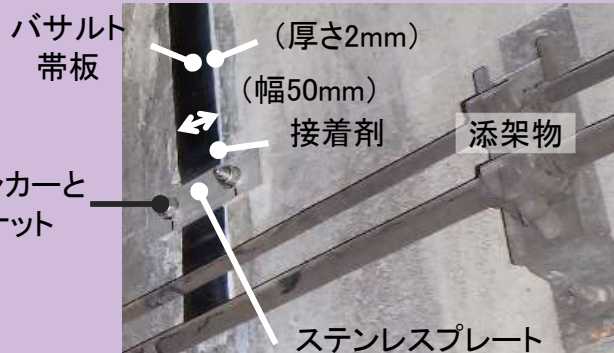
標準施工間隔  
50cm  
⇒ ←



バサルト帯板

標準施工仕様

バサルト帯板とネット



添架物との取り合いの例



無筋コンクリート覆工での施工例



ブロック積み覆工での施工例

※ 本工法は、戸田建設株式会社、有沢製作所株式会社、コニシ株式会社と共同で開発したものです。

(特許第5623936号)

※ 問合せ先: 戸田建設株式会社 技術開発センター TEL:03-3535-2641 FAX:03-3535-2669